

5/12 五曜

トヨタ自動車の
連結決算

	営業収益	営業利益	純利益
22年3月期	313,795	29,956	28,501
	(15.3)	(36.3)	(28.9)
23年3月期予想	330,000	24,000	22,600
	(5.2)	(▲19.9)	(▲20.7)

(注)単位億円、億円未満切り捨て。営業収益は売上高に当たる。カッコ内は前期比増減率%、▲はマイナス

トヨタ営業益2.9兆円

円安追い風で過去最高

トヨタ自動車は11日発表した2022年3月期連結決算(国際会計基準)は、本業のもろけを示す営業利益が前期比36・3%増の2兆9955億6千円となりました。会計基準の変更で単純比較はできませんが、16年3月期(2兆8539億6千円)を上回って過去最高。新型コロナウイルスの影響で落ち込んだ新車販売が回復し、為替相場の円安も追い風となりました。

純利益は26・9%増の2兆8501億6千円、売上高に当たる営業収益は15・3%増の3兆3795億6千円となり、いずれもこれまでの最高を更新しました。為替相場が円安に振れたことで営業利益を6100億円押し上げました。さらに、北米

3月期の連結業績予想は、営業収益が5・2%増の33兆円、営業利益は19・9%減の2兆4000億円。純利益は20・7%減の2兆2600億円と増収減益を見込みます。

トヨタ自動車は11日発表した2022年3月期連結決算(国際会計基準)は、本業のもろけを示す営業利益が前期比36・3%増の2兆9955億6千円となりました。会計基準の変更で単純比較はできませんが、16年3月期(2兆8539億6千円)を上回って過去最高。新型コロナウイルスの影響で落ち込んだ新車販売が回復し、為替相場の円安も追い風となりました。

同時に発表した23年

グループ全体の世界販売台数は1070万台と約3%増加し、過去最高となる見通し。想定為替レートは1ドル115円、1ドル130円としました。ただ、足元で進む資材価格高騰の影響は大きく、営業利益ベースで1兆4500億円の減益要因となります。